

公益社団法人 千葉県建築士事務所協会 副会長のご挨拶

副会長 福田 幸則



令 和6年も残りわずかとなりました。会員の皆様・賛助会員の皆様には、自己(自社)の業務がお忙しい中、協会活動に賛同していただき、御礼申し上げます。

副会長を拝命しております松戸支部の福田幸則です。井桁会長のもとで微力ながら執行部の一員として協力してまいりました。

令和6年は、能登半島の地震に始まり多くの公共機関で耐震診断や耐震改修補助金等の申請が非常に多数出ているようです。

来年度の4月からは、建築基準法の改正で4号特例の廃止や省エネ(外皮)基準が大幅に変わります。

これからも、公益社団法人千葉県建築士事務所協会の会員として、数多くの会員や賛助会員の皆さんとつながりを作り、事業にも協力させていただき、私にとっては大変大きな経験となっています。

協会活動は、各会員や賛助会員の献身的・犠牲的な努力により実行されるものだと思います。各事業や委員会活動・支部活動の実現は、個々の能力の向上にも役立と思います。

これからも、公益法人としての活動や、建築士・建築事務所の知識・技術の進歩に対する講習や勉強会や、日時連・千葉県などの委託講習や、委員会が主催する技術講習・見学会なども開催したいと思います。

今現在は、各委員会内の活動(会議)をZoom等も利用して、リモート会議なども数多く開催しております。

講習会や勉強会も、ZoomやYou Tubeなど数多くのリモート関連を利用して行う事も始めております。

支部の皆さんには、本部の様子は分かりにくい状況ですが、支部と本部との意志の疎通をはかるようにしていきたいと思っております。支部長会議やいろいろな交流会を通じ対応していきたいと思っております。

思いつくままに書きましたが、今後ともご指導のほどよろしく御礼申し上げます。

各会員・賛助会員の皆様にとって、ますますの進歩・発展と、当事務所協会発展と継続を心からお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。

副会長 吉岡 一成



皆 さんこんにちは。副会長の吉岡と申します。総務・財務を担当しております。若輩者ですが、諸先輩方、事務局の皆様のおかげでなんとか過ごしております。

副会長となって改めて協会の現状を見直して、まず課題を感じたのは財務の健全化です。数年間に渡り、約800万円程度の赤字が積み重なっており、2~3年後には各種積立金を取り崩さないとならない状況でした。今年度は支出削減に皆様の御協力を頂いた事もあり、赤字が約500万円になる見通しです。現在、財務立て直しのために会費の値上げを検討しております。千葉県は近隣他県と比較して低い会費でこれまで運営してきましたが、講習会の収入の激減などにより、値上げは不可避の状況です。近々、執行部から提案をさせて頂く事になりますが、会員の皆様には何卒御理解を頂きたくお願い申し上げます。

一方、別の課題として会員の減少があります。平成9年度から昨年度まで、会員数が439から334と105社(24%)減少しています。母数となる千葉県の事務所登録数も4,493から3,275(R3)と1,218社(27%)減っているため時代の流れとも言えますが、近隣他県の数字を見ると、本来は400社弱で下げ止まっているのが妥当と考えています。理由は色々考えられますが、総じて協会の現状があまり魅力的でないためと受け止めております。また、全体数だけではなく問題として都市部への人口集中、地方の過疎化があります。支部の会員数の動向を見ても、都市部では増加傾向がありますが、房総半島地域では減少傾向が見られます。これからは会員数が少ない支部も参加しやすいような運営・組織に変化していく必要があります。

私たちは任意参加の団体ですので、魅力やメリットがないと人が離れていきます。情報や人の交流の場として、有意義な団体となるように努めていきたいと考えております。今後とも、御指導、御鞭撻のほどよろしく御礼いたします。